

# 第三者評価結果

社会福祉法人 ポプラ会

旦の原保育園

特定非営利活動法人

大分福祉サービス評価機構

## 福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 大分福祉サービス評価機構

②第三者評価実施日

平成 23年 9月 6日

③事業者情報

名称： 且の原保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 三田井 精子	定員（利用者数）： 110名
所在地：大分市高江北2丁目8番1	Tel 097-554-3386

総評

◇ 特に評価の高い点

1).福祉サービスの基本方針と組織について

- ・法人の理念および保育所としての理念を練り上げる中から、「芽はゆっくり、根はしっかり」という保育方針が導き出され、保護者にもしっかり伝わっていることが注目に値します。

2).組織の運営管理について

- ・今後保育所が目指す目標と保育の質について、組織的に吟味され方向性を定めていることがよく分かります。
- ・実習生について幅広く受入れ、次世代の若者の育成という観点から積極的に取り組んでいる点は特筆すべきところです。
- ・子育てに関する相談や保護者交流行事の実施・卒園生との継続的なつながりの機会の設定など、地域の拠点施設としての機能をしっかり発揮しています。

3).適切な福祉サービスの実施について

- ・サービスの質を確保するために、第三者評価や各種学会等のガイドラインなどを前向きに活用していることは注目すべき点です。

4).上記以外について

- ・保育所としての食育の考え方と取組みが保護者にも浸透しており、家庭での生活にも好影響を与えている点が高く評価できます。
- ・保護者を孤立させないように、児童や保護者の個別性に配慮した各種の取組みと対応は特筆すべき点です。

◇ 改善を求められる点

1). 福祉サービスの基本方針と組織・組織の運営管理について

- ・今後の児童福祉の動向に基づいた事業展開の目標と保育現場で求められる諸課題について、管理者と現場スタッフが今以上に共通認識を持ち、前向きに取り組んでいかれることを期待します。

\*細かい点については各項目ごとの評価の詳細およびメモのとおり。

⑤ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回で3年毎3回目の受審となりましたが、この度の評価結果のひとつとして当園の保育方針が保護者の方々に浸透し、ご理解を得ていることが判明しましたことは有難いことであります。

然しながら、個別事項について感じますことは、まだまだ職員全員の努力が必要であり、各課題を更に掘り下げて検討し、実践してゆかねばならないと感じております。

昨今、保育活動を取り巻く環境は、これまでの思考の延長線では解決できないとの前提に立ち、新たな保育制度が始まると聞き及びます。従いまして今回のような評価作業も新たな立場から受審してゆくことが求められると考えます。

これからも、子どもの成長を中心に置き保護者の方々と手携えながら、よりよい保育活動を推進してゆけるよう努めてまいりたいと考えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

## 《評価細目の第三者評価結果》

すべての評価細目について、判断基準に基づいた評価結果を表示する。

(a・b・c)の3段階評価です。

### 福祉サービス第三者評価基準（保育所版）

#### I 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。

I-1-(1)-① 理念が明文化されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念、保育理念を明文化しており、法人と保育所の使命・役割を反映している。
- ② 法人・保育所の理念、保育理念を明文化しているが、法人と保育所の使命・役割の反映が十分ではない。
- ③ 法人・保育所の理念、保育理念を明文化していない。

I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念に基づく基本方針を明文化しており、その内容が適切である。
- ② 法人・保育所の理念に基づく基本方針を明文化しているが、その内容が十分ではない。
- ③ 法人・保育所の理念に基づく基本方針を明文化していない。

I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。

I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- ② 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を職員に配付しているが、理解を促すための取組が十分ではない。
- ③ 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を職員に配付していない。

I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- ② 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配付

しているが、理解を促すための取組が十分ではない。

c) 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配付していない。

#### [I-1 理念・基本方針に関する評価の詳細]

- ・法人の基本理念にはじまり保育所としての理念から、「芽はゆっくり、根はしっかり」という保育方針が導き出されていることが、議事録や事業計画・保育のしおり等のパンフレットを通じて分かります。
- ・職員会議や研修会等を通じて、これらの理念や方針を浸透させていこうとする強い姿勢が諸記録からも伺えます。今後は保育現場において、スタッフがどれくらい理解して取組めているのかを検証することが期待されます。
- ・入園時の説明資料やパンフレット・行事等を通じて保育方針を保護者に積極的に伝えていることが、今回の利用者アンケートからもよく分かります。

### I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。

#### 【調査結果】

- ① 経営や保育サービスに関する、中・長期計画を策定している。
- b) --
- c) 経営や保育サービスに関する、中・長期計画を策定していない。

I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。

#### 【調査結果】

- ① 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。
- b) --
- c) 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映していない。

I-2-(2) 計画が適切に策定されている。

I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。

#### 【調査結果】

- ① 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画する会議などの場で策定されている。
- b) 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画のもとで策定されているが、会議などの場は設けられていない。
- c) 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画のもとで策定されていない。

I-2-(2)-② 計画が職員に周知されている。

#### 【調査結果】

- ① 事業計画を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- b) 事業計画を職員に配布しているが、理解を促すための取組が十分ではない。
- c) 事業計画を職員に配布していない。

I-2-(2)-③ 計画が利用者等に周知されている。

【調査結果】

- ㉑) 事業計画を利用者等に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- b) 事業計画を利用者等に配布しているが、理解を促すための取組が十分ではない。
- c) 事業計画を利用者等に配布していない。

[I-2 計画の策定に関する評価の詳細]

- ・児童福祉政策の動向に基づき中長期計画を策定し、理事会および現場レベルで今後に向けた検討が行なわれていることが各種記録から分かります。
- ・年度ごとの事業計画についても、動向を踏まえたものになっており職員会議等を通じて理解を促すための取組が行なわれています。保育現場においてどう活かされているかを検証していくことを期待します。
- ・利用者アンケートから、保護者に事業計画を説明していることがよく分かります。保育料金等の説明については、制度の理解が難しい保護者の立場にたったより丁寧な説明が望まれます。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。

I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。

【調査結果】

- ㉑) 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。
- b) 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。
- c) 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。

I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

【調査結果】

- ㉑) 管理者自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取組を行っている。
- b) 管理者自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているが、十分ではない。
- c) 管理者自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っていない。

I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。

【調査結果】

- ㉑) 管理者は、保育サービスの質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。
- b) 管理者は、保育サービスの質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。

c) 管理者は、保育サービスの質の向上に関する組織の取組について指導力を発揮していない。

I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。

【調査結果】

- a) 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。
- b) 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。
- c) 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組について指導力を発揮していない

[I-3 管理者の責任とリーダーシップに関する評価の詳細]

・今後の保育制度改正に向けて管理者は、積極的に各種情報を収集するとともに経営的観点から課題分析に取り組んでいることが分かります。今後これらの課題に対して現場スタッフと一丸となった取組みに大いに期待します。

## II 組織の運営管理

### II-1 経営状況の把握

II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。

【調査結果】

- a) 事業経営をとりまく環境を的確に把握するための取組を積極的に行っている。
- b) 事業経営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っているが、十分ではない
- c) 事業経営をとりまく環境を把握するための取組を行っていない。

II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。

【調査結果】

- a) 経営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。
- b) 経営状況を分析して課題を発見する取組を行っているが、改善に向けた取組を行っていない。
- c) 経営状況を分析して課題を発見する取組を行っていない。

II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。

【調査結果】

- a) 外部監査を実施しており、その結果に基づいた経営改善を実施している。
- b) 外部監査を実施しているが、その結果に基づいた経営改善が十分ではない。
- c) 外部監査を実施していない。

[II-1 経営状況の把握に関する評価の詳細]

・法人としてまた1事業所としての経営分析と課題の抽出が、組織的に行なわれていることが各種資料から分かります。

### II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。

II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。

【調査結果】

- a) 目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。
- ① b) 目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しているが、それに基づいた人事管理が十分ではない。
- c) 目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立していない。

II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。

【調査結果】

- ② a) 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課を実施している。
- b) 定期的な人事考課を実施しているが、客観的な基準に基づいて行われていない。
- c) 定期的な人事考課を実施していない。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。

【調査結果】

- ① a) 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。
- b) 職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。
- c) 職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。

II-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。

【調査結果】

- a) 福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。
- ② b) 福利厚生事業を実施しているが、十分ではない。
- c) 福利厚生事業を実施していない。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。

【調査結果】

- ① a) 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
- b) 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されているが、十分ではない。
- c) 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されていない。

II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。

【調査結果】

- ② a) 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され、計画に基づ



いた具体的な取組が行われている。

- b) 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されているが、計画に基づいた具体的な取組が十分に行われていない。
- c) 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されていない。

#### II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。

##### 【調査結果】

- ④) 研修成果の評価が定期的に行われるとともに、次の研修計画に反映されている。
- b) 研修成果の評価が定期的に行われているが、次の研修計画に反映されていない。
- c) 研修成果の評価が定期的に行われていない。

#### II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。

##### II-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。

##### 【調査結果】

- ⑤) 実習生を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。
- b) 実習生を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。
- c) 実習生を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されていない。

##### II-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。

##### 【調査結果】

- ⑥) 実習生受入れの際には、実習の効果をあげるプログラムを用意する等、育成に取り組んでいる。
- b) 実習生受入れの際には、実習の効果をあげるプログラムを用意する等、育成に取り組んでいるが、十分ではない。
- c) 実習生受入れの際、実習の効果をあげるプログラムを用意する等の取り組みを行っていない。

#### [II-2 人材の確保・養成に関する評価の詳細]

- ・今後保育所として目指そうとする目標と保育の質については、組織的に吟味されていることがよく分かります。一方で現場スタッフが保育所にとって必要とされる人材として育てていくための今後の取組みに期待します。
- ・実習生の受け入れについて、中学生や高校生・特別支援学校の生徒・大学生・適応指導教室の通級生等を幅広く受け入れ、実習生それぞれにあった対応により高い効果をあげていることが実習記録などからも分かります。

### II-3 安全管理

#### II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。

##### II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

【調査結果】

- ①) 子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し機能している。
- ②) 子どもの安全確保のために、組織として体制を整備しているが、十分に機能していない。
- ③) 子どもの安全確保のために、組織として体制を整備していない。

II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

【調査結果】

- ①) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い実行している。
- ②) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要因分析と対応策の検討が十分ではない。
- ③) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。

II-3-(1)-③ 災害等の発生時における防災体制が整備されている。

【調査結果】

- ①) 子どもの安全確保のための地域における連携のとれた防災体制が整っており、定期的な避難訓練等を実施している。
- ②) 子どもの安全確保のための地域における連携のとれた防災体制が整っているが、定期的な避難訓練等を実施していない。
- ③) 子どもの安全確保のための地域における連携のとれた防災体制が整っていない。

[II-3 安全管理に関する評価の詳細]

- ・ 児童の安全確保について細やかな配慮が伺えます。遊具の安全基準に基づく園内遊具の点検や、幼児向けの防災教育ビデオの作成などは注目に値する点です。
- ・ 災害時を想定した備品（簡易トイレ・テント・非常食）も備えられており、高齢化が進んだ近隣の避難拠点としての役割を担おうと取り組んでいることが分かります。

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

II-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。

【調査結果】

- ①) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っている。
- ②) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。
- ③) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。

II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。

【調査結果】

- ①) 保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っている。
- ②) 保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っているが、十分ではない。
- ③) 保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っていない。

II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

【調査結果】

- ① a) ボランティアを受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている。
- b) ボランティアを受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受入れの担当者が決められていない。
- c) ボランティアを受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されていない。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。

【調査結果】

- ① a) 保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報が職員間で共有されている。
- b) 保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示しているが、その情報が職員間で共有されていない。
- c) 保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。

II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。

【調査結果】

- ② a) 関係機関・団体と定期的な連携の機会を確保し、具体的な課題や事例検討を行っている。
- b) 関係機関・団体と定期的な連携の機会を確保しているが、具体的な課題や事例検討は行っていない。
- c) 関係機関・団体と定期的な連携の機会を確保していない。

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。

II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。

【調査結果】

- ③ a) 地域の具体的な福祉・子育てニーズを把握するための取組を行っている。
- b) 地域の具体的な福祉・子育てニーズを把握するための取組を行っているが、十分ではない。
- c) 地域の具体的な福祉・子育てニーズを把握するための取組を行っていない。

II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。

【調査結果】

- ④ a) 把握した福祉・子育てニーズに基づいた事業・活動が実施されている。
- b) 把握した福祉・子育てニーズに基づいた事業・活動の計画があるが、実施されていない。
- c) 把握した福祉・子育てニーズに基づいた、事業・活動の計画がない。

#### [Ⅱ-4 地域との交流と連携]

- ・子育てサークルや育児相談・夏祭り等の行事での交流・卒園生の同窓会の受入れなど地域住民との幅広い交流と施設機能の開放が継続的な形で行なわれていることは、特筆すべき点です。
- ・事例検討会等を通じ児童相談所や近隣大学等を社会資源として活用しています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

##### Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。

###### 【調査結果】

- ① a) 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示され、組織内で共通の理解を持つための取組が行われている。
- b) 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示されているが、組織内で共通の理解を持つための取組は行っていない。
- c) 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示されていない。

##### Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。

###### 【調査結果】

- ② a) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。
- b) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、職員に周知する取組が十分ではない。
- c) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。

##### Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。

##### Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。

###### 【調査結果】

- ③ a) 保護者の意向に配慮する姿勢が明示され、意向を把握する具体的な仕組みを整備している。
- b) 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されているが、意向を把握する具体的な仕組みが十分ではない。
- c) 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されていない。

##### Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。

###### 【調査結果】

- ④ a) 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備され、実際にその向上に向けた取組を行っている。
- b) 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されているが、その向上に向けた取組が十分ではない。

c) 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されていない。

III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

III-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。

【調査結果】

- ① a) 保護者が相談したり意見を述べたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境が整備され、そのことを利用者に伝えるための取組が行われている。
- b) 保護者が相談したり意見を述べたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境が整備されているが、そのことを利用者に伝えるための取組が十分ではない。
- c) 保護者が相談したり意見を述べたい時に、相談方法や相談相手を選択できる環境が整備されていない。

III-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。

【調査結果】

- ① a) 苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。
- b) 苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが、十分に機能していない。
- c) 苦情解決の仕組みが確立していない。

III-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。

【調査結果】

- ① a) 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。
- b) 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備しているが、迅速に対応していない。
- c) 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備していない。

[III-1 利用者本位の福祉サービスに関する評価の詳細]

- ・子どもと保護者のプライバシー保護に配慮しつつ保護者の孤立防止のため了解を得たうえで必要な情報を回覧するなど、きめ細かい対応が行なわれています。
- ・利用者満足度の向上のために、保護者懇談会や評価でのアンケートにより意見や要望をすいあげ、園だより等で開示するなど前向きな取組が行なわれています。今回の利用者アンケートで出された要望や意見への丁寧な対応を期待します。

## III-2 サービスの質の確保

III-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。

III-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。

【調査結果】

- ① a) 保育サービスについて、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制が整備され機能している。
- b) 保育サービスについて、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制が整備さ

れているが、十分に機能していない。

- c) 保育サービスについて、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制が整備されていない。

Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。

【調査結果】

- ① 実施した評価の結果を分析し、組織として取り組むべき課題を明確にしている。
- b) 実施した評価の結果を分析し、組織として取り組むべき課題を明確にしているが、十分ではない。
- c) 実施した評価の結果を分析し、組織として取り組むべき課題を明確にしていない。

Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。

【調査結果】

- ① 評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を立て実施している。
- b) 評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を立て実施しているが、十分ではない。
- c) 評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を立て実施していない。

Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。

Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。

【調査結果】

- ① 個々の保育場面について、標準的な実施方法が文書化され、それに基づいたサービスが実施されている。
- b) 個々の保育場面について、標準的な実施方法が文書化されているが、それに基づいたサービスの実施が十分ではない。
- c) 個々の保育場面について、標準的な実施方法が文書化されていない。

Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。

【調査結果】

- ① 標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを行っている。
- b) 標準的な実施方法について定期的に検証しているが、必要な見直しを行っていない。
- c) 標準的な実施方法について定期的な検証をしていない。

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。

【調査結果】

- ① 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。
- b) 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録はあるが、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されていない。
- c) 一人ひとりの子どもの記録がない。

III-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。

【調査結果】

- ① 子どもに関する記録管理について規程が定められ、適切に管理が行われている。
- ② 子どもに関する記録管理について規程が定められ管理が行われているが、十分ではない。
- ③ 子どもに関する記録管理について規程が定められていない。

III-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。

【調査結果】

- ① 一人ひとりの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。
- ② 一人ひとりの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。
- ③ 一人ひとりの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を開催していない。

[III-2 サービスの質の確保に関する評価の詳細]

- ・サービスの質を確保するために、第三者評価や各種学会等のガイドラインなどを前向きに活用する姿勢が伺えます。
- ・保育に関する各種マニュアルや児童の記録等が整備されるとともに、職員会議や主任会議等の情報を共有する機会も多く設定されています。今後は現場スタッフから意見が積極的に発信されることで、遺漏なく必要な情報が共有され利用者満足につながることを期待します。

III-3 サービスの開始・継続

III-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

III-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。

【調査結果】

- ① 利用希望者に対してサービス選択に資するような工夫を行って情報提供している。
- ② 利用希望者に対してサービス選択に資するような工夫を行って情報提供しているが、十分ではない。
- ③ 利用希望者に対してサービス選択に資するような工夫を行って情報提供していない。

III-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。

【調査結果】

- ① サービス開始の同意を得るにあたり、組織が定める様式に基づき保護者等にわかりやすく説明を行っている。
- ② サービス開始の同意を得るにあたり、組織が定める様式に基づき保護者等に説明を行っているが、十分ではない。
- ③ サービス開始時の同意を得るにあたり、組織が定める様式に基づき保護者等に説明を行っていない。

III-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。

【調査結果】

- ① 保育サービスや保育所の変更等にあたり保育の継続性に配慮している。
- ② 保育サービスや保育所の変更等にあたり保育の継続性に配慮しているが、十分ではない。
- ③ 保育サービスや保育所の変更等にあたり保育の継続性に配慮していない。

〔Ⅲ-3 サービスの開始・継続に関する評価の詳細〕

- ・ サービス開始時の説明が丁寧に行なわれていることが、アンケート調査からも分かります。また、転園にあたって「申送り書」により保育の継続性が保たれるよう配慮しています。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。

Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。

【調査結果】

- ① 子どもの身体状況や、生活状況等を正確に把握するために、手順を定めて計画的なアセスメントを行っている。
- ② 子どもの身体状況や、生活状況等を正確に把握するために、手順を定めてアセスメントを行っているが、十分ではない。
- ③ 子どもの身体状況や、生活状況等を正確に把握するための、アセスメントの手順を定めていない。

Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。

【調査結果】

- ① 子ども全てについて、アセスメントに基づき、保育士のニーズや課題を具体的に明示している。
- ② 子ども全てについて、アセスメントに基づき、保育士のニーズや課題を明示しているが、十分ではない。
- ③ アセスメントに基づき、保育士のニーズや課題を明示していない。

Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。

【調査結果】

- ① 子ども一人ひとりに着目した指導計画策定のための体制が確立しており、実際に機能している。
- ② 子ども一人ひとりに着目した指導計画策定のための体制が確立しているが、十分に機能していない。
- ③ 子ども一人ひとりに着目した指導計画策定のための体制が確立していない。

Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。

【調査結果】



①) 指導計画について、実施状況の評価と実施計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施している。

②) 指導計画について、実施状況の評価と実施計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施しているが、十分ではない。

③) 指導計画について、実施状況の評価と実施計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施していない。

【Ⅲ-4 サービス実施計画の策定に関する評価の詳細】

・アセスメント～計画策定～評価・見直しの一連の過程が児童の年齢・状態に応じて展開されていることが聞き取りと諸記録から分かります。

Ⅲ-5 質の高い福祉サービスの実施に係る具体的な取り組み

Ⅲ-5-(1) 質の高い福祉サービスの実施のために特記すべき取り組みが行われている。

Ⅲ-5-(1)-① 質の高い福祉サービスを実施に向けて、事業者として独自性のある取り組みや特徴的な取り組みを行っている。

◇該当する項目を記入し、具体的な取り組みについて記述する。

【該当項目】

「 - - ( ) - 」

【特記事項】

## 付 加 基 準

### A-1 子どもの発達援助

#### 1-(1) 発達援助の基本

A-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。

##### 【調査結果】

- ① a) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。
- b) 保育計画は、保育の基本方針に基づき作成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。
- c) 保育計画が、保育の基本方針に基づいていない。

A-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。

##### 【調査結果】

- ② a) 定期的に指導計画の評価を行い、その結果が次の指導計画に生かされている。
- b) 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に生かされていない。
- c) 定期的に指導計画の評価を行っていない。

##### [メモ]

- ・保育方針に基づいた保育計画を策定し、日々の実践が行なわれています。また卒園後の小学校生活に順応できているかどうか追跡調査を行い検証し、園だよりで保護者にも結果を公表している点は特筆すべきところです。

#### 1-(2) 健康管理・食事

A-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。

##### 【調査結果】

- ① a) 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。
- b) 健康管理は、マニュアルなどはないが子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。
- c) 健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施していない。

A-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。

##### 【調査結果】

- ② a) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。
- b) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。
- c) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達していない。

A-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。

【調査結果】

- ① 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。
- ② 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。
- ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達していない。

A-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。

【調査結果】

- ① 食事を楽しむことができる工夫をしている。
- ② 食事を楽しむことができる工夫はしているが、十分ではない。
- ③ 工夫をしていない。

A-1-(2)-⑤ 子どもの食事状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。

【調査結果】

- ① 十分に対応している。
- ② 食事状況を把握しているが、工夫はしていない。
- ③ 把握も工夫もしていない。

A-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と十分に情報を共有している。

【調査結果】

- ① 十分に情報を共有している。
- ② 子どもの保育所での食生活の情報を家庭へ提供しているが、家庭からの情報を収集していない。
- ③ 情報を共有していない。

A-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。

【調査結果】

- ① アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。
- ② -
- ③ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っていない。

[メモ]

- ・児童の健康状態を入園時のアセスメントで明らかにし、日々の保育の中で配慮がされています。
- ・保育所の食育の考え方が浸透していることが、アンケート調査の結果からも読み取れます。食材や調理方法など細やかな工夫が、家庭での食生活にも良い影響を与えていることが分かります。

### 1-(3) 保育環境

A-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備する工夫をしている。

#### 【調査結果】

- ① 十分な工夫がなされている。
- ② 工夫がなされているが、十分ではない。
- ③ 工夫がなされていない。

A-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。

#### 【調査結果】

- ① よい取り組みが行われている。
- ② 取り組みが行われているが、十分ではない。
- ③ 取り組みが行われていない。

[メモ]

- ・自然環境を活かした取り組みが行なわれています。敷地内の「にこにこやま」での自然の実りや生き物との触れあいと、教材や行事などを通じた園児間の交流など保育所としての意図と工夫が随所にみられます。

### 1-(4) 保育内容

A-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、丁寧な対応をしようと努めている。

#### 【調査結果】

- ① 子どもによく丁寧な対応をしようと努めている。
- ② 子どもへの理解を深めているが、丁寧な対応をしようと努めていない。
- ③ 子どもへの理解を深めていない。

A-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。

#### 【調査結果】

- ① 一人ひとりの子どもの状況に応じてよく対応している。
- ② 対応しているが、一人ひとりの子どもへの対応が十分ではない。
- ③ 対応していない。

A-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。

#### 【調査結果】

- ① よく整備されている。
- ② 自発性を尊重しているが、自発性を発揮できるような積極的な働きかけが十分ではない。
- ③ 整備されていない。

A-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。

#### 【調査結果】

- ① よく取り組みがなされている。

- b) --
- c) 取り組みがなされていない。

A-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。

【調査結果】

- ① よく配慮されている。
- b) --
- c) 配慮されていない。

A-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つような具体的な取組がなされている。

【調査結果】

- ① よく取り組んでいる。
- b) 取組が行われているが、十分ではない。
- c) 取り組んでいない。

A-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるような具体的な取組がなされている。

【調査結果】

- ① よく取り組んでいる。
- b) 取組が行われているが、十分ではない。
- c) 取り組んでいない。

A-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。

【調査結果】

- ① よく配慮されている。
- b) 配慮されているが、十分ではない。
- c) 配慮されていない。

A-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

【調査結果】

- ① 環境が整備され、配慮もみられる。
- b) 環境は整備されているが、配慮がされていない。
- c) 環境が整備されておらず、配慮もされていない。

A-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

【調査結果】

- ① 環境が整備され、配慮もみられる。
- b) 環境は整備されているが、配慮がみられない。
- c) 環境が整備されておらず、配慮もみられない。

A-1-(4)-⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

【調査結果】

- ① 環境が整備され、配慮もみられる。

- b) 環境は整備されているが、配慮がみられない。
- c) 環境が整備されておらず、配慮もみられない。

[メ モ]

・園児や保護者の個別的な状況や背景を理解した対応に努めていることが分かります。保護者を支えるために多様な取組みが行なわれており、それが安心感につながっていることが利用者アンケート調査の意見に現れています。

## A-2 子育て支援

### 2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

#### A-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。

##### 【調査結果】

- ① a) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。
- b) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っているが、個別面談などは行っていない。
- c) 一人ひとりの保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。

#### A-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。

##### 【調査結果】

- ② a) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。
- b) -
- c) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じた記録がなされていない。

#### A-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。

##### 【調査結果】

- ③ a) 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。
- b) 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。
- c) 懇談会などの話し合いの場を設けていない。

#### A-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。

##### 【調査結果】

- ④ a) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。
- b) 虐待などの早期発見に努めているが、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっていない。
- c) 虐待などの早期発見に努めていない。

A-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。

【調査結果】

- ① a) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。
- b) --
- c) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っていない。

[メモ]

- ・個別面談や懇談会など保護者との情報交換の機会がきちんと設定されています。保護者の受けとり方にもよりますが、アンケートにあるようなコミュニケーションのズレからくる誤解等への対処についての取組みが期待されます。

2--(2) 一時保育

A-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。

【調査結果】

- ① a) 一時保育の内容や方法によく配慮している。
- b) 一時保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。
- c) 一時保育の内容や方法に配慮していない。

[メモ]

- ・園児と保護者の置かれた状況に配慮しつつ一時保護への対応がなされていることが、聞き取りと記録から分かります。

A-3 危機管理

3--(1) 危機管理

A-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。

【調査結果】

- ① a) 調理場、水周りなどの衛生管理はマニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。
- b) 調理場、水周りなどの衛生管理はマニュアルはあるが、適切に実施されていない。
- c) 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがない。

A-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。

【調査結果】

- ① a) 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、

全職員に周知されている。

- b) 食中毒の発生時に対応できるマニュアルはあるが、全職員には周知されていない。
- c) 食中毒に関するマニュアルがない。

A-3-(1)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。

**【調査結果】**

- ① 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。
- b) 感染症発生時に対応できるマニュアルはないが、発生状況を保護者、全職員に通知している。
- c) 感染症発生時に対応できるマニュアルもなく、保護者、全職員に通知していない。

A-3 (1)-④ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。

**【調査結果】**

- ① 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。
- b) 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。
- c) 事故防止に向けた具体的な取組を行っていない。

A-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。

**【調査結果】**

- ① 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。
- b) 不審者の侵入時に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。
- c) 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがない。

**[メモ]**

- ・感染症や食中毒など日常的なリスクに対して、対応手順やチェックリストが整備されており職員会議や研修会を通じて常に意識するよう取組まれています。
- ・事故に関しては、開放型施設であることを意識し自然の森の整備や遊具のチェックなど前向きに防止に向けた取組みがなされています。